

動画あり
からモバまたは
勝毎電子版で

筆頭に他の国が強

高木選手は「五輪では応援が力になつた。ただ、オランダを誇りになる」とあいさつ。同日午前に行われた帯南商業高の報告会では、生徒たちの拍手に迎えられながら高木選手が体育館に入場し、山田校長が「卒業生の活躍は本校にとって大変な

ケートに初出場した高木菜那選手(21)は日本電産サンキヨーの五輪出場報告会が20日、母校の帯広南商業高校(山田義弘校長、生徒594人)と札内中学校(式見貴美穂校長、生徒436人)で開かれ、五輪での経験や努力の大切さなどを後輩たちに語った。

高木選手はソチ五輪1500mで32位と力を発揮できなかつたが、団体追い抜き(チームパシユート)では4位入賞に貢献した。

「五輪、応援が力に」

札内中 高木菜那選手が報告

ソチ五輪女子スピードスケートに初出場した高木菜

那選手(21)は日本電産サンキヨーの五輪出場報告

会が20日、母校の帯広南商

業高校(山田義弘校長、生

徒594人)と札内中学校

(式見貴美穂校長、生徒4

36人)で開かれ、五輪で

の経験や努力の大切さなど

を後輩たちに語った。



小澤体育委員長(右)から花束を受け取る高木選手(20日午前9時20分ごろ、帯南商高で。金野和彦撮影)

く、レベルの差を感じた

と振り返り、「目標に向

頑張り続けることは一人で

はできない。ライバルがい

ることが大切で、この人に

勝ちたいという目標の人を

身近に感じて頑張ってほし

い」と生徒に語った。

また、ドーピング検査に

ついても紹介し、「良い結

果を出しても、禁止薬物の

使用が分かれば、メダル剥

奪など努力が水の泡にな

る。正々堂々と戦うために

も注意してほしい」と訴え

た。

生徒を代表して山中萌生徒会長(2年)が「これからも頑張ってください」とお礼の言葉を述べ、小澤美咲体育委員長(同)が高木選手に花束を手渡した。

スピードスケート部の浅野実久さん(同)は「努力のすごさに感動した。自分も高校最後の年になるので高木選手を見習つて頑張りたい」と話していた。

(宮木宗久)